

学生教育への批判

Forum on Student Training

W. G. Hewstone

Department of Occupational Therapy,
Shenly Hospital, Shenly, U. K.

(Through youth to age. Proceedings of the Fourth
International Congress of the W.F.O.T.,
London, 1966)

臨床実習で学生に何を望むかということで、学校と実習指導者とは学生を綱引き争いするようである。学生は精神病や病院に意識的あるいは無意識的な恐れや偏見をもっている。この状態では、順応に要す時間を与え、治療する前に自分の問題を理解させねばならない。第1週めはオリエンテーションに費し、彼らとともに問題を見、質問するように促す。

学生は実習プログラムと何を期待されているかを知る必要がある。名前のよびかた、話しかた、礼儀、服装などの話が役だつ。学生は方法を知らないうちに治療の困難を経験する。OTは社交的な場や非公式な接近を用い、病室を離れての人間理解を学ばねばならない。

だれが学生に治療的人間関係を理解させるのか？ 正常と異常心理について、基礎的理論的知識をもっている学生によってである。この知識から自分の感情と患者

の反応を理解できる。理論的知識を使いうるには、理論と実際の移しかえの応用で、これは学校と実習で訓練する。病院には参考資料、学校には復習が必要である。

学生は圧迫されずに病院生活に集中し、指導者は彼らの要求に基づきプログラムを体系化すべきである。宿題や責任の適用はむずかしい。独創的な研究課題を計画し行なうことは、学生に責任感と独創力をつける。

実習病院の態度はたいせつで、学校と学生の受け入れの責任が明確にされねばならない。実習生受け入れの動機は、病院を良くするとか、人手を補うとか、真に心配するとか、よけいな仕事だとかいろいろ異なるが、動機を知り、一度受け入れたらこれを保持するのは病院当局から委ねられた実習指導者の責任である。学生と病院が尊敬し助けあうとき、唯一の苦情は学生の滞在が短いということである。どういう機会にでも学生の段階と実習目的と制限はなにかを知らせるのはたいせつである。精神科臨床実習での学生の問題点を次のようにまとめた。

① 学生には自身を理解するための時間が要る。

② 学生は訓練のためにきており、計画・観察・指導に時間がある。

③ 学校と病院間に誠実な関係と意思伝達がなければならぬし、学生はこれを知っているべきである。

④ 病院側は実習前に学校から責任を明らかにされるべきである。



OT 協会ニュース

ミュージックセラピー研究会開催 3月9日、大阪市大で、ロブソン夫人による治療例をビデオで見、講演・質疑応答という形式で、第1回研究会がもたれた。今後も身分などの旧来の方式にとらわれず、会をつくり継続することに意見が一致した。

精神科作業療法の規格と判定研究会 3月11日に7名の会員が集まり、作業分析・方法について、体験報告・討議をした。この会は3年間継続されていく。

消息 保田麻子・木村信子両OTは、2月23日、オーストリアでの世界作業療法士連盟の認める講師養成コース1年の研さんを終え、羽田帰朝。鎌倉矩子OTは現在米国ハイランドビュー病院（オハイオ州、クリ

ーブランド）で臨床経験をつんでいる。

第1回OT卒業生 九州リハビリテーション大学から初めての卒業生11人は全員第1次国家試験に合格。

学会 日時：5月26-28日。会場：東医健保会館。
＜日程＞ 第1日午前＝講演“サイコダイナミックス”池田由子。会員発表。同午後＝セミナー“片麻痺のOT”、“精神科のOT”。会員発表。第2日午前＝シンポジウム“わが国における作業療法—今後の発展のために”。講演“手の機能”原武郎。同午後＝昼食会につづいて総会。第3日＝見学、実習（実費徴収）。授産所見学のため貴峰荘（神奈川県平塚市達上ノ丘1-9）を訪問。レクリエーション指導実習は国立武蔵療養所（東京都小平市小川東町2620）。スプリント実習は国立身体障害者センター（東京都新宿区戸山町1）。以上の3か所のうち希望するところに参加することができる。希望者は早めに申し込んでほしい。